

連盟会報

発行日：2015年(平成27年)5月11日

…◆第39号◆…(P-1)
発行：NPO法人 日本抜刀道連盟
企画・構成・編集：広報部
…事務局… 〒130-0026
東京都墨田区両国 2-21-5 両国ダイナプラザ802号
☎：03-3631-5851 FAX：03-3631-5852

“修練と絆”…“絆と連帯” 連盟本部主催『制定刀法・公認審判』伝達講習会 開催



剣道場

…◆修練と絆◆… “制定刀法・公認審判”伝達講習会
“人生一期一会”全国各地で活躍する支部長/精鋭選手の雄姿と連盟本部指導層(前列)

—記念撮影・写真提供—
保泉 正夫 連盟専員写真課

新緑若葉に映える去る五月五日の連休喪つ只中、平成二十七年年度事業計画に基づく、本部主催の「制定刀法・公認審判」伝達講習会が、神奈川県立武道館に於いて盛大に開催された。

開会式典では、現代の抜刀道の生みの親・中村泰三郎泰舟翁と共に、日本の武道界で抜刀道は、武道の源流を為すと提唱した、連盟創設者の一人でもある、故・中村脛治最高顧問。そして、この講習会を天国から見守ってくれているであろう、森本参与・樋口高知興武館長、富田均玉尚武館支部長の在りし日の姿を偲び、哀悼を祈りつつ黙祷を捧げた。

講習会は、開会に先立ち、大江連盟会長は連休の中で皆さんの熱心な講習参加に頭が下がる。審判は、人の上にと判定を下す重要な役割だ。我々は、目先の勝負にとらわれず「心」と「技」を鍛えようと言ふ精神を忘れてはならない。

そして、我々が日夜「稽古・修練」に励むの己を鍛え自己の技と共に、この精神をより高い地点に求める為であり、この「剣道の修練原点」を忘れてはならないと力説された。

中島正夫新副会長からは「人生は一期一会」…この様に「健康かつ元気な姿」で再会し研修が出来る事を互いに喜びあいたい。

先にご挨拶を戴いた、大江会長は、大阪を早朝四時過ぎに立ち私運の為に、この席に出席しているが、会長の抜刀道にかける永年に互る「情熱と意志」を私運は踏まえ、この講習会は「教わるのではなく、盗みとる」と言う気持ちで、何かを修得し、各支部に持ち帰る武道精神で、今日一日、皆で協力し中身の濃い意義ある講習会にしようではないかと激励がかった。

前任者の中世吉副会長から、大任を引き受けたが、前任者が築かれた「実績と絆の goodness」を踏まえて、本部役員チームワークの基に、連盟の将来と発展を見据え、更に前進させようではないかと呼びかけがあった。

「修練を通して仲間同士の絆が生まれる」とこの絆から連帯が生まれる。そして、その結果は連盟の発展と共に、この「絆」こそが、自己の発展啓発に直結するとの挨拶があった。

講習会は、午前は制定刀法の「座学・実技」が活発に展開され、午後は公認審判の座学「審判要点」の目付、審判実技と評価と中身の濃い「ビシター」とした講習展開となった。



会報39号は、38号に続き“48頁から55頁”の白黒でも鮮明コピーの計8枚構成です。— 48 —
広報活動は、組織の“要”であり、各支部事務局はコピーして支部会員への配布を願います。—◆広報 部長◆—

Report 

…広報部からのお願い…

▽開会式典で挨拶する大江連盟会長。⇨

▽中島副会長・金子参与による式典前の事務局長を含めた講師陣との打ち合わせ意気統一。



◆修練と絆◆



◆制定刀法講習◆

…◆講師陣◆…

大塚光男 範士八段・太田丈夫 範士八段・遠藤 仁 範士八段
菅野 茂 教士八段・藤田久男 範士七段・境 泰雅 範士六段

■ 制定刀法研修は、連盟《教本》に基づき、菅野茂八段教士によ「制定刀法10本」の刀法所作・留意点を含めた丁寧な解説に応じて…教務部長：大塚光男八段範士が模範演武で実技指導した。…立合助言：参与 金子 翼範士・太田丈夫範士…

■ 模範演武指導に引き続き、教務部の精鋭講師により各ブロックに別れての「実技指導」が行われ、気合のいった刀法実技を修練。新緑言葉に映える5月連休の武道館道場内に籠もる熱気を吹き飛ばした…。



▽制定刀法「模範演武と実技指導」する 教務部長/大塚範士。⇨



▽金子範士による「制定刀法本旨」模範演武



▽右膝部を振り ⇨ 刀を引き ⇨ 中段腰に戻り ⇨
⇨ 相手の“本月”を一気に - 刀の『待つ先』で突く。
“心技体の一貫”の“観望”を感じさせる見事な“連続技” - 金子範士の《突》

◆『制定刀法・公認審判』伝達講習会 出席者名簿（順不同）◆

大江正男(会長)・中島正夫(副会長)・中世古勝司(相談役)・金子 翼(参与)・大塚光男(川崎)・太田丈夫(笠間)
遠藤 仁(山形)・境 康男(高知)・菅野 茂(東京)・金子薫(鎌倉)・横山 慎平(鎌倉)・斎藤亮一(鎌倉)
野村寛一(秩父)・山口 博(英信会)・田村 悟(川崎)・飯田敏晃(川崎)・田島 敬(埼玉)・関原 勝(埼玉)・岩崎 進(埼玉)・深川哲雄(埼玉)・松浦健城(忠実会)・西原彰子(忠実会)・橋部 一(福岡)・佐藤淳一(山形)・小林克巳(尚武館)・新藤智之(尚武館)・城地広貴(尚武館)・赤星新一(聖心塾)・平川政博(武蔵会)・今村文彦(高知支部)
藤原義彦(八千代)・柴田輝久(東京)・藤原弘道(八千代)・宮本晋三(八千代)・岩沢和也(八千代)
大塚西二(英信会)・保泉正夫(本部)